

2023年度

滋賀県精神保健福祉士会 第23回総会 議案書

【日 時】 2023年6月17日(土) 13:30~16:30
【会 場】 草津市立市民交流プラザ

滋賀県精神保健福祉士会 第23回定期総会

次第

13:15～ ZOOM 開室

13:30～ 定期総会

（（公社）日本精神保健福祉士協会滋賀県支部総会も併せて開催）

会長挨拶

議長選出

第1号議案 2022年度 事業報告（案）

第2号議案 2022年度 会計・監査報告（案）

第3号議案 2023年度 事業計画（案）

第4号議案 2023年度 予算（案）

議長解任

（公社）日本精神保健福祉士協会滋賀県支部総会

14:30～ 休憩

14:45～ 基調講演

テーマ：精神科病院を収容所から心の医療の場にする

講師：オリブ山病院 横田 泉 氏

16:30 閉会

第1号議案 2022年度 事業報告（案）

1 定期総会

2022年6月4日（土）第22回定期総会 ZOOM ミーティング

第一号議案 2021年度 事業報告（案）

第二号議案 2021年度 会計・監査報告（案）

第三号議案 理事改選について

第四号議案 2022年度 事業計画（案）

第五号議案 2022年度 予算（案）

すべての議案について承認されました。

2 理事会

第1回	2022年	7月15日	草津市立市民交流プラザ会議室
第2回	2022年	8月23日	ZOOM ミーティング
第3回	2022年	9月18日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM 併用
第4回	2022年	10月26日	ZOOM ミーティング
第5回	2022年	11月29日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM 併用
第6回	2022年	12月21日	草津市立市民交流プラザ会議室
第7回	2023年	1月	書面会議
第8回	2023年	2月28日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM 併用
第9回	2023年	3月28日	草津市立市民交流プラザ会議室・ZOOM 併用

3 各事業

理事の改選があり、新たな体制で各事業に取り組んだ。理事会は集合とオンラインを組み合わせながら、新型コロナウイルス感染症の感染状況も踏まえ実施し、過去2年間の状況と比べると、顔を合わせて検討を行う機会が増え、内容も充実したように思われる。

また、研修会については、全体研修、初任者向け研修、三団体合同研修、近畿2府4県研修を実施し、オンラインも取り入れながら取り組めたことから、各団体、各会員相互の交流が図れ、資質の向上に寄与したと考える。

1) 企画事業（研修等事業）

個々の資質の向上、自己研鑽の機会の確保、会員の交流、精神保健福祉の発展への寄与等の目的のもと、研修等を企画、実施しました。

2022年6月4日 全体研修

内容：精神保健福祉に関する動向とコロナ禍における支援の状況

話題提供 滋賀県立精神保健福祉センター所長辻本氏

グループワーク

2022年9月18日 初任者向け研修会

内容：福祉サービスや生活保護等の制度について 東近江市役所障害福祉課村田氏
関係機関の実践報告 地域生活支援センター風田中氏
セフィロト病院清水氏
こなんSSN小林氏

グループワーク

2022年11月23日 近畿2府4県PSW合同研修会

テーマ：いま、精神保健福祉士の実践を考える
内容：2府4県のPSWからの実践報告
精神障害のある人の尊厳確立と精神保健福祉士の役割
～障害者権利条約や精神保健福祉法改正を考えながら～
講師：東奈央氏（つぐみ法律事務所 弁護士）

2023年2月25日 滋賀県ソーシャルワーク関連3団体研修

内容：「契約」から取り残されたクライアントの支援
～実践から考える地域包括ケア～
講師：野田智子氏（JA 愛知厚生連 江南厚生病院 患者支援室室長）
シンポジウム：

NPO 法人あさがお 理事長 尾崎史氏
社会福祉法人グロー 救護施設ひのたに園 園長 齋藤誠一氏
淡海ふれあい病院 医療福祉相談課課長 谷由紀子氏

2023年3月5日 全体研修

内容：精神保健福祉法について考える
シンポジスト：
滋賀県立精神保健福祉センター所長 辻本哲士氏
滋賀県健康医療福祉部障害福祉課課長 長谷川貴也氏
日本精神保健福祉士協会会長 田村綾子氏

2) 広報

滋賀県立精神医療センター・滋賀県立精神保健福祉センターにおいて広報部を組織し、精神保健福祉に関する様々な情報提供や会員同士の交流の場、各種研修実施の報告等を盛り込んだニュースレターの企画から作成・編集・郵送を年数回行っています。

広報誌「とことんPSW」の発行
NO.49 2022年 12月発行

インターネット社会を鑑みて、パソコンからのアクセスだけでなく、携帯電話からもアクセスしやすいようモバイルホームページの機能にも対応しています。また、Twitter を取得し SNS による情報発信にも努めました。

各種研修やイベント開催の案内、求人案内等のタイムリーな情報発信に取り組んでいます。

「滋賀県精神保健福祉士会」 ホームページ <http://shiga-psw.org/>

「滋賀県精神保健福祉士会」 Twitter @shigakenmhswkai

3) 施策制度検討事業等

理事会において、施策動向等の情報共有や学習に努めた。

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課との協議の場などの機会を持つことは今年度もできず、今後の課題として残っている。

4) 組織運営・基盤整備事業

当会の運営、事業執行への対応・組織体制の確立、運営基盤の整備を行うことを目指し、以下の活動に取り組みました。

① 組織の体制・基盤整備に関すること

会員へのメール配信の整備については、今後も新規入会した会員を中心にメールでの情報伝達等利便性の面からも積極的に取り組んだ。

② 理事会の充実に関すること

今年度も原則月1回理事会を開催し、新型コロナウイルス感染症の感染状況も踏まえオンラインと対面のハイブリッド開催など工夫しながら実施した。過去2年間の状況と比べると、顔を合わせて検討を行う機会が増え、内容も充実したように思われる。

4 委員派遣・推薦・協力等

以下の関係機関・団体・審議会等について、委員の派遣・推薦・協力をしました。

- ・滋賀県精神保健福祉審議会…委員派遣 西川氏
- ・滋賀県障害者差別のない共生社会づくり委員会…委員派遣 杉山理事
- ・滋賀県社会福祉学会…実行委員、推進委員合同会議、滋賀県社会福祉学会に参加…村田理事
- ・滋賀県運営適正化委員会（あんしんなっとく委員会）…苦情解決合議体委員派遣 岩瀬監事
- ・滋賀県精神医療審査会…委員派遣 梶副会長 後藤氏
- ・滋賀県精神保健福祉協会…理事派遣 池田会長
- ・滋賀県地域福祉施策検討委員会…理事派遣 西川氏
- ・精神保健参与員…推薦
- ・滋賀県医療観察制度運営連絡協議会…委員派遣 梶副会長
- ・高島市障害支援区分認定審査会…委員推薦 中山氏
- ・滋賀県リハビリテーション協議会…委員派遣 丹羽理事

5 関係団体等との連携

1) 県内関係団体

【3 団体関係】 滋賀県社会福祉士会・滋賀県医療ソーシャルワーカー協会

(1) 3 団体合同研修会 【再掲】

2023 年2月25日 滋賀県ソーシャルワーク関連3団体研修

内 容：「契約」から取り残されたクライアントの支援

～実践から考える地域包括ケア～

講 師：野田智子氏（JA 愛知厚生連 江南厚生病院 患者支援室室長）

シンポジウム：

NPO 法人あさがお 理事長 尾崎史氏

社会福祉法人グロー 救護施設ひのたに園 園長 齋藤誠一氏
淡海ふれあい病院 医療福祉相談課課長 谷由紀子氏

(2) 滋賀県ソーシャルワーカーデーの開催・・・開催されず

2) 全国・県外団体

[社団法人日本精神保健福祉士協会（以下 JAPSW）との連携]

支部報告参照

6 事務局

以下の業務を行いました。

- ・会員管理業務
- ・会計業務
- ・公文書、資料の管理など事務全般
- ・関係団体との連絡調整
- ・会員へのメール配信（各種案内や求人情報等）

7 後援・協賛

8 会員数（2023年4月1日現在）

正会員	104名
準会員	1名
賛助会員	2名

第2号議案 2022年度滋賀県精神保健福祉士会収支決算書（案）

収入

科目	2022年予算額	決算額	差額	説明
会費収入	318,000	182,000	136,000	2022年度分:111,000円+過年度分:71,000円
支部活動協力費	70,500	72,000	△ 1,500	48名×1,500円
基幹研修Ⅰ委託費	90,000	90,000	0	2021年度開催分
雑収入	20,000	1,006	18,994	研修会参加費:1,000円、利息:6円
繰越金	492,737	492,737	0	
合計	991,237	837,743	153,494	

支出

科目	2022年予算額	決算額	差額	説明
運営費				
事務・通信費	70,000	1,512	68,488	郵送代
使用料・賃貸料	20,000	19,900	100	理事会会場費、備品使用料
旅費・交通費	40,000	0	40,000	
負担金	10,000	10,000	0	滋賀県精神保健福祉協会会費
予備費	30,000	0	30,000	
小計	170,000	31,412	138,588	
事業費				
総会費	50,000	1,200	48,800	会場費
研修会費	300,000	87,692	212,308	会場費・講師謝礼・振込手数料・飲料等
広報活動費	30,000	28,396	1,604	広報誌印刷代、郵送代
ホームページ管理費	30,000	0	30,000	
災害対策費	100,000	0	100,000	
オンライン設備費	150,000	123,235	26,765	ノートパソコン購入費
予備費	161,237	0	161,237	
小計	821,237	240,523	580,714	
合計	991,237	271,935	719,302	

収入決算額 837,743円と支出決算額 271,935円の差額 565,808円は、次年度に繰り越すこととする。

特別会計	
定期預金	201,510

第3号議案 2023年度 事業計画（案）

事業方針

当会会則第3条の目的「本会は、精神保健福祉士の価値・知識・技術に則した専門職として資質の向上に努めると共に、会員相互の交流、関係団体との連携、その他の社会活動を通じ、精神保健福祉士の向上に寄与することを目的とする」を達成するため、以下の活動に取り組むことを事業方針とします。

1) 精神保健福祉を推進するための取り組み

- 権利擁護に関する取り組み
施策制度の検討・提言、各種研修会等で会員の資質向上の充実
- 関係団体との情報交換・協力・協働を目的とした取り組み
日本精神保健福祉士協会滋賀県支部との協力・協働関係を目的とした事業
滋賀県社会福祉士会・滋賀県医療ソーシャルワーカー協会と連携した事業
- 災害支援に備えた取り組み
日本精神保健福祉士協会との協定に基づいた取り組み
災害対策計画の見直し

2) 会員の資質の向上のための取り組み

全体研修・・・担当理事を中心として、会員の協力を得て企画、実施する。
年間概ね2回程度開催する。

基幹研修の開催

オンラインでの新人・中堅・ベテラン等のweb 交流会の開催

委員会活動による勉強会の実施

権利擁護・就労支援・災害対策・その他

県内3団体での研修会、ソーシャルワーカーデーの参画

共催や後援事業による研修会等の実施ならびに会員への案内

3) 広報活動の充実

年2回ニュースレターの発行、ホームページ・SNSによる情報発信の充実 等

4) 事務局機能の移行・充実

- 会員管理業務…現況調査により、会員登録者数の確定・会費の完全納入をはかります
- 組織拡大・ニーズの把握…事業運営・活動に反映できるよう、アンケートや広報誌を活用し、会員のニーズ把握に努めます
- 組織体制の整備…各種規程等の整備に努めます
- 会計業務、公文書、資料の管理など事務全般を行います
- 関係団体との連絡調整に努めます
- 会員へのメール配信（各種案内や求人情報等）を行います。

5) 関係団体との連携に関する事業

- 当会の事業目的にそって、精神保健福祉分野をはじめ、関係団体・諸会議等への委員派遣や推薦、協力、連携を進めます。
- 日本精神保健福祉士協会入会補助事業
日本精神保健福祉士協会滋賀県支部の構成員数が全国 47 位である状況を鑑み、滋賀県精神保健福祉士会の構成員で、日本精神保健福祉士協会に 2023 年度に入会した方を対象として、入会に係る経費の一部を助成し、入会の促進を図ります。本事業は、支部活動協力費の予算の範囲内で行うこととします。

6) その他必要な事項

第4号議案 2023年度滋賀県精神保健福祉士会収支予算書（案）

収入

科目	2022年予算額	2023年予算額	差額	説明
会費収入	318,000	326,000	8,000	正会員106名×3,000円 その他3名×2,000円
支部活動協力費	70,500	75,000	4,500	50名×1,500円
基幹研修Ⅰ委託費	90,000	90,000	0	
雑収入	20,000	20,000	0	研修会参加費・利息等
繰越金	492,737	565,808	73,071	
合計	991,237	1,076,808	85,571	

支出

科目	2022年予算額	2023年予算額	差額	説明
運営費				
事務・通信費	70,000	70,000	0	切手・事務用品等
使用料・賃貸料	20,000	30,000	10,000	理事会会場費等
旅費・交通費	40,000	40,000	0	役員会等交通費
負担金	10,000	10,000	0	精神保健福祉協会会費
予備費	30,000	30,000	0	
小計	170,000	180,000	10,000	
事業費				
総会費	50,000	150,000	100,000	講師謝礼・交通費、資料等
研修会費	300,000	300,000	0	講師謝礼、会場費等
広報活動費	30,000	50,000	20,000	会報誌印刷・郵送代等
ホームページ管理費	30,000	30,000	0	
災害対策費	100,000	100,000	0	研修参加費・旅費・防災用品等
オンライン設備費	150,000	50,000	△ 100,000	オンライン会議ソフト契約料等
日本精神保健福祉士協会 入会補助費		75,000		補助額7,500円×10名分
予備費	161,237	141,808	△ 19,429	
小計	821,237	896,808	75,571	
合計	991,237	1,076,808	85,571	

特別会計

定期預金	201,510
------	---------